

上宇部小での「望ましい働き方」

2026.07.01 職員会資料

本資料は、みなさんに「望ましい働き方」について、話を聞かせていただいた結果をもとに、「望ましい働き方」の共通点や違いを整理し、今後の学校運営の参考とするためにまとめたものです。

【全体の傾向】

今回の結果から、完全に統一された「望ましい働き方」は見られませんでした。が、共通する考え方が複数確認されました。

□主な共通点は以下の3点です。

- 時間的なゆとり（定時退庁・時間内での業務完結）
- 自分の裁量で仕事を進められること
- 人間関係・チームの良さ（安心して働ける環境）

【意識による分類】

回答内容から、みなさんの考え方は主に次の5つに分類されるのではないかと思います。

①時間効率を重視する方

時間内に仕事を終えることを重視し、早く帰れることを望ましいと感じている。

②やりがいを重視する方

教材研究や授業改善など、やりたい仕事に主体的に取り組めることを重視する。

③バランスで葛藤している方

「早く帰りたい」と「もっと仕事をしたい」という気持ちの間で揺れている。

④改善志向の方

忙しさや余裕のなさを課題と捉え、より良い働き方を模索している。

⑤関係性を重視する方

学年団やチームの連携・安心感を重視する。

【共通して大切にされている価値】

個々の違いはあるものの、共通して重視されているのは次の点です。

- 時間を自分でコントロールできること
- 自分で仕事を選び進められること（裁量があること）
- 安心して働ける人間関係が構築されていること
- 仕事に対する納得感ややりがいがあること

【統一見解について】

みなさんの状況（経験年数、家庭状況、役割など）が異なるため、「一つの理想的な働き方」に統一することは不可能ですが、働き方の条件（環境）は共通化することが可能です。

- 業務の見通しがもてること
- 裁量が確保されていること
- チームで支え合えること
- 業務の偏りが少ないこと

【今後に向けて】

今後は、一人ひとりの多様な働き方を尊重しながら、次の点を大切にしていきます。

- 早く帰る働き方も、ある程度時間をかけて働く働き方も認め合う。
- 働きやすい雰囲気づくり（心理的安全性）の向上につとめる。
- 業務の見通しや情報共有の充実を図る。
- 特定の人に負担が偏りすぎない仕組みづくりを考える。

【まとめ】

望ましい働き方とは、「自分の価値観に応じて時間と仕事を調整でき、安心して働ける状態」であるといえます。このことを共有し、互いの働き方を認め合い、総合力で課題解決にあたることができる、よりよい職場環境づくりを全員で進めていきましょう。